

一之宮地区



人口2,600人／世帯数817
町内会数6 (平成27年4月1日現在)



国指定天然記念物「臥龍桜」

一之宮町は、中部日本の分水嶺にあたる川上岳、位山の麓に広がる源流の里です。
一町一区のまとまった地区で、



会長 田邊 重敏 さん

地区の行事はほとんど町民総参加で行われます。
まちづくり協議会は平成26年4月に設立。その前年には準備委員会を発足させ、地域の既存事業の洗い出しや中学生以上を対象にした住民アンケートを実施し、住み続けたいまちづくりに向けた議論を深めてきました。

シリーズ

協働のまちづくり

人々の笑顔と人情があふれる「桜と源流の里」一之宮

第一章

一之宮町

まちづくり協議会

当初は手探りでしたが、参加者が徐々に「補助金頼りの事業の必要性を見つめなおそう」「住民の関心を高めるために情報提供が大事」などと地域づくりへの意識が高まってきたことが印象的でした。

また、協議会設立の記念事業として宮城県女川町に臥龍桜の苗木を寄贈しました。これは、桜の町として有名な同町が震災後にほとんどの桜が流出したことを受け「同じ桜のまちとして復興の一助になれば」との思いからで、今年3月には宮中学校の生徒も一緒に現地を訪れて交流を深めてきました。

地域の資源を活かしながら、子どもからお年寄りまでが一体となつて「住み続けたい・誇りの持てる一之宮町」をつくるため、これからも住民の皆様への情報提供や意見を交わしていく場づくりを大切にしていきます。

一之宮町まちづくり協議会
住所 一之宮町30007
(一之宮公民館内)
TEL 53-2424 FAX 53-3178

広報 市長だより

41

協働のまちづくり

高山市長 國島芳明

花里と一之宮の両地区をモデル地区として先行実施した「協働のまちづくり」は、今年4月に市内20地区全ての組織化ができました。立ち上げにあたり地区の皆様方には貴重なお時間をたくさん使っていただき、汗して議論を深めていただきましたことを深く御礼申し上げます。

税金の使い道を自ら考えていただき、自分たちのまちを自分たちでよくするため、行政も一緒になって市民が主役の新しい高山市を築く仕組みがいよいよスタートしました。

協働のまちづくりには市として支援金2億5千万円余りと地区の意向を踏まえて実施する市道等の維持・修繕に2億円を用意させていただいたほか、各地区2人のまちづくり担当職員を配置しました。お金と人と場所を最大限提供し、住民の皆様とともに取り組んでいこうとする姿勢は、おそらく日本で初めての取り組みだと自負しております。

「いつまでも住み続けたい」と、一人ひとりが思っていただけのまちを築くため、私ももちろん先頭に立って皆様と活動をともにしてまいります。

市長室へようこそ

●市民と市長の面談日

6月25日(木)
午前9時～11時45分
※事前にご予約ください



また、始業前の時間も市役所の市長室を「市民と市長の対話の場」として開放しています。お気軽にお越しください。

●開放時間

午前7時～8時30分まで
※出張や特別な行事がある場合は除きます。
※市ホームページで市長の週間スケジュールを公開しています。

市長室直通FAXもご利用ください
FAX●32-7000

問合せ先 秘書課 ☎35-3130

ケーブルテレビの番組「ハイ、市長です」はインターネットでもご覧いただけます。市ホームページ「行政情報」の動画コーナー

高山市公式YouTubeチャンネル

印刷/有限会社 大六印刷



70%再生紙を使用

編集・発行/高山市企画管理部企画課
〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地
TEL/0577-32-3333(代)
FAX/0577-32-7000 (市長室直通)
FAX/0577-35-3174 (企画課直通)

HP/ http://www.city.takayama.lg.jp/
E-mail/ kouhou@city.takayama.lg.jp
防災情報などは携帯電話でもご覧いただけます
携帯用HP/ http://mobile.city.takayama.lg.jp/